

敬老の日 ちらし寿司を食べました

今年は、敬老の日に栄養士さん
をお願いをして、ちらし寿司を作
ってもらいました。

普段はお寿司関連の食事を出し
ていないため、皆さんとてもよく
食べられました。

「この酢の味付けが丁度いいな
あ。私には合っている」

「こりゃあ、うまい！」

「美味しい、美味しい！」とそれ
それに気に入ってもらい、とても良かったです。

中には、「今日は、何の日でえ？」と言っていた方もいて、皆を笑わせました。
また、お代わりをしたい人もいて、とても有意義な食事をしました。

これからも、季節になった食事や行事に合って食事などを、栄養士と話を
しながら提供していきたいと思います。



s
s
み
ら
い
新
聞

第 61 号

2018 年 9 月

発行責任者

新津 尚

裏の植え込みを整理しました



施設の裏にある植え込みは、四季折々の花が
楽しめるように！と思い開所当時に植え込みを
したのですが、木がなかなか根付かず、また草
の管理も大変になり、今回きれいに整理をして
見栄えのする庭にしました。

また、非常にすっきりとしましたので、食堂か
らの外の景色よく見えるようになりました。

外国人介護職員採用について

2025 年には、介護職員人口が全国で約
40 万人不足すると言われていました。

厚生労働省の推計によると、必要とされる
介護人材は 253 万人。それに対してこれ
からさまざまな施策によって実際に供給で
きる人材は 215.2 万人。つまり、37.7 万
人の人材が不足することになります。

政府は EPA という形で、フィリピンや
インドネシア、ベトナムから介護職員を受
け入れしてきましたが、限られた中での採
用でした。今後は、大量の外国人介護職員
が必要になりますが、外務省があまり積極
的でないという話の中で、人材派遣会社が
全国で 700 社ほど外国人介護職員の採用
に向けて許可を申請したそうですが、4 社
だけが許可されたそうです。これでは、外
国人介護職員の受け入れは進まず、日本人
の少子化と介護職離れを考えると、2025
年問題をどのようにクリアしていくの
か？とても疑問であります。介護難民が出
ないよう、また介護職員に対する施策をき
ちんとして頂き、誰もが安心して老後が迎
えられるようにして欲しいものです。